

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 英語科
教科担当	江洲あきお
教科書名	SUNSHINE
副教材名	Active Phonics 英語ラゴ

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)
 ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中生徒のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活が繋がっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

英語科の学習について

学習のねらい	(1)初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2)初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3)英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 (4)英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。
授業のすすめ方	(1)「聞くこと」については、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な音声の特徴をとらえ、正しく聞き取る力をつけていきます。 (2)「話すこと」については、ペアワークを中心にコミュニケーションに取り組みます。 (3)「読むこと」については、語句の意味を確認して音読したり、物語のあらすじを読み取りながら黙読したりすることを実践します。 (4)「書くこと」については、辞書を活用したり自分の感想を書いたりすることで、文の構造を理解する力を育てます。 (5)ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
学習上の留意点	(1)相手に聞き返したりしながら、コミュニケーションを図ること。まとまりのある英語を聞いて要点を適切に聞き取れるようにする。 (2)間違いを恐れずに積極的に自分の考えなどを話すこと。また、場面や状況にふさわしい表現ができるようにする。 (3)英語で書かれた内容が適切に理解できるように、様々な工夫をして音読すること。 (4)簡単な単語を使ったり、辞書を活用するなど、工夫しながら積極的に書くこと。 (5)常に辞書を準備して、わからない単語などを積極的に調べること。

2 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テスト、インタビュー・スピーキングテストの得点、授業中の態度、ペアやグループなどの英語を話す活動への参加、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業(夏期・冬期・春期)に宿題を出します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> 試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 各テストでは毎回、リスニングを実施します。また、ALTの先生とのインタビュー・スピーキングテストも適宜実施します。 <input type="checkbox"/> 定期テストでは、自分の考えや状況を英語で表現する英作文も出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等	
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	英語科シラバス	
5月	・Program1 アルファベット・Phonicsを学ぼう。 「アルファベットが書ける。アルファベットの音を覚える。」		
6月	・Program2 アメリカからの転校生 「自己紹介をしてから、相手と簡単な対話ができる」		
7月	・Program3 ウッド先生がやってきた 「自己紹介をしたり、インタビューができる。」		1学期期末テスト 6月26日～27日
8月	・Program4 リサイクル活動 「数についてたずねたり、答えたりできる」		夏休みの宿題
9月	・Program5 国際フードフェスティバル 「身の回りのものを紹介したり、たずねたりできる」		2学期実力テスト 8月28日～29日
10月	・Program6 由紀のイギリス旅行 「人やものの紹介や説明ができる」		2学期中間テスト 10月9日～10日
11月	・Program7 The Wonderful Ocean 「疑問詞WhoやWhenを使ってたずねたり答えたりできる」		
12月	・Program8 Origami 「できることを言ったり、できることをたずねたり、答えたりできる」		2学期期末テスト 11月20日～22日
1月	・Program9 A New Year's Visit 「今していることについて、質問したり答えたりできる」		学年末テスト 2月13日～15日
2月	・Program10 Mike's Visit to Washington, D.C. 「過去にしたことについて説明したり、質問できる」		
3月	・Program11 Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh 「不規則な過去形をもつ動詞を使い、過去のことをたずねたり、答えたりできる」		
	・Program12 Her Dream Came True 「亡き父の夢を実現した方法を読み取り、その事実や心情を第三者に伝えよう」		

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- ・英語の授業では、グループ学習やペア学習をよく行います。お互いに協力して頑張りましょう。
- ・単語の学習は日々の繰り返しが大切です。計画的に家庭学習に取り組みましょう。
- ・単語や教科書の音読練習などは、声に出して練習しましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、単語の意味をしっかりと理解して、書けるようになっておきましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・英語検定にも積極的に挑戦しましょう。

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 英語科
教科担当	江洲あきお
教科書名	SUNSHINE
副教材名	英語ラボ

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)
 ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中生徒のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活が繋がっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 英語科の学習について

学習のねらい	(1)初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2)初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3)英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 (4)英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。
授業のすすめ方	(1)「聞くこと」については、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な音声の特徴をとらえ、正しく聞き取る力をつけていきます。 (2)「話すこと」については、ペアワークを中心にコミュニケーションに取り組みます。 (3)「読むこと」については、語句の意味を確認して音読したり、物語のあらすじを読み取りながら黙読したりすることを実践します。 (4)「書くこと」については、辞書を活用したり自分の感想を書いたりすることで、文の構造を理解する力を育てます。 (5)ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
学習上の留意点	(1)相手に聞き返したりしながら、コミュニケーションを図ること。まとまりのある英語を聞いて要点を適切に聞き取れるようにする。 (2)間違いを恐れずに積極的に自分の考えなどを話すこと。また、場面や状況にふさわしい表現ができるようにする。 (3)英語で書かれた内容が適切に理解できるように、様々な工夫をして音読すること。 (4)簡単な単語を使ったり、辞書を活用するなど、工夫しながら積極的に書くこと。 (5)常に辞書を準備して、わからない単語などを積極的に調べる。

2 評価について

評価方法	<input type="checkbox"/> 成績は、毎学期の定期テストや単元テスト、インタビュー・スピーキングテストの得点、授業中の態度、ペアやグループなどの英語を話す活動への参加、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/> 評価の観点は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/> 長期休業(夏期・冬期・春期)に宿題を出します。
定期テスト	<input type="checkbox"/> 授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/> 試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/> 各テストでは毎回、リスニングを実施します。また、ALTの先生とのインタビュー・スピーキングテストも適宜実施します。 <input type="checkbox"/> 定期テストでは、自分の考えや状況を英語で表現する英作文も出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	英語科シラバス
5月	・Program1 Did You Enjoy Your Vacation? 「過去のことについて英語で表現することができる。」 (休日のできごとを書こう)	
6月	・Program2 A Trip to Finland 「未来表現を使って、これからすることについて説明できる」 (夏休みの予定を考えて英語で書こう)	
7月	・Program3 What Can We Do for Others? 「義務や命令、必要性について言うことができる」 (理想の学校のルールを英語で書こう)	1学期期末テスト 6月26日～27日
8月	・Program4 Eigo Rakugo 「古典落語を英語で楽しみ、英語で演じることができる」	夏休みの宿題
9月	・Program5 Gulliver's Travels 「住みよい町づくりや、町の紹介ができる」 (自分のおすすめの観光地の紹介をしよう)	2学期実力テスト 8月28日～29日
10月	・Program6 A Wor Experience Program 「自分のしたいことや将来のことについて伝え合うことができる」 (したいことを英語で1分間で話そう)	2学期中間テスト 10月9日～10日
11月	・Program7 If You Wish to See a Change 「セバンさんのメッセージを理解し、感想や意見を書くことができる」 ・My Project スピーチをしよう	2学期期末テスト 11月20日～22日
12月	・Program8 Friendship across Time and Borders 「日本とトルコを結ぶ強い友情と絆の背景にある歴史を理解することができる」	
1月	・Program9 A Video Project 「比較表現を用いて身近なものを比べることができる」	
2月	・Program10 So Many Countries, So Many Customs 「比較級や最上級の表現を用いて、自分のことや身のまわりのことが表現できる」 ・Program11 Yui--To Share Is to Live. 「受け身の表現を使って、好きな場所や景色が紹介できる」	学年末テスト 2月13日～15日 県学力到達度調査 2月21日(英)
3月		

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手)
- ・英語の授業では、グループ学習やペア学習をよく行います。お互いに協力して頑張りましょう。
- ・単語の学習は日々の繰り返しが大切です。計画的に家庭学習に取り組みましょう。
- ・単語や教科書の音読練習などは、声に出して練習しましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。
- ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、単語の意味をしっかりと理解して、書けるようになっておきましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・英語検定にも積極的に挑戦しましょう。

平成31年度球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 英語科
教科担当	江洲あきお
教科書名	SUNSHINE
副教材名	英語ラポ

はじめに:これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する(本校教育目標:知の側面)ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中生徒のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当(教科の先生)は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活が繋がっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

英語科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> (1)初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2)初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3)英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 (4)英語を書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> (1)「聞くこと」については、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な音声の特徴をとらえ、正しく聞き取る力をつけていきます。 (2)「話すこと」については、ペアワークを中心にコミュニケーションに取り組みます。 (3)「読むこと」については、語句の意味を確認して音読したり、物語のあらすじを読み取りながら黙読したりすることを実践します。 (4)「書くこと」については、辞書を活用したり自分の感想を書いたりすることで、文の構造を理解する力を育てます。 (5)ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、お互いの意見や考えを交流させながら、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> (1)相手に聞き返したりしながら、コミュニケーションを図ること。まとまりのある英語を聞いて要点を適切に聞き取れるようにする。 (2)間違いを恐れずに積極的に自分の考えなどを話すこと。また、場面や状況にふさわしい表現ができるようにする。 (3)英語で書かれた内容が適切に理解できるように、様々な工夫をして音読すること。 (4)簡単な単語を使ったり、辞書を活用するなど、工夫しながら積極的に書くこと。 (5)常に辞書を準備して、わからない単語などを積極的に調べること。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>成績は、毎学期の定期テストや単元テスト、インタビュー・スピーキングテストの得点、授業中の態度、ペアやグループなどの英語を話す活動への参加、各種提出物などを総合して評価します。 <input type="checkbox"/>評価の観点は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」です。 <input type="checkbox"/>長期休業(夏期・冬期・春期)に宿題を出します。
定期テスト	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>授業で扱った事項、および試験前に指定した範囲から出題されます。 <input type="checkbox"/>試験範囲は、定期テスト1週間前までに発表します。 <input type="checkbox"/>各テストでは毎回、リスニングを実施します。また、ALTの先生とのインタビュー・スピーキングテストも適宜実施します。 <input type="checkbox"/>定期テストでは、自分の考えや状況を英語で表現する英作文も出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 ガイダンス ※シラバスを用いて学習内容や評価について説明する。	英語科シラバス
5月	・Program1 A History of Vegetables 「現在完了の文を使って、すでにしてしまったことを聞いたり、言ったりできる」	
6月	・Program2 Volcanoes in Japan 「日本の世界遺産についての説明文をもとに、プレゼンテーションができる」 ・Program3 The 5 Rs to Save the Earth 「不定詞のさまざまな表現が理解できる」	1学期期末テスト 6月26日～27日
7月	・Program4 Faithful Elephants 「当時の状況を思い浮かべ、気持ちを込めて読み聞かせに挑戦できる」	夏休みの宿題
8月	・Program5 Sushi-Go-Around in the World 「callやmakeを使って、場面に応じた表現ができる」	2学期実力テスト 8月28日～29日
9月		
10月	・Program6 Let's Talk about Japanese Things. 「Picture Describingを活用して描写・説明ができる」 ・Program7 What Is the Most Important Thing to You? 「主格の関係代名詞を使って、人やものについて詳しく説明できる」	2学期中間テスト 10月9日～10日
11月	・Program8 Clean Energy Sources 「目的格の関係代名詞を使い、人やものについて詳しく説明できる」	2学期期末テスト 11月20日～22日
12月	・Program9 Education First: Malala's Story 「マララさんについてのストーリーが理解できる」	
1月	・Special Project:卒業に向けて一思いを伝えよう 「卒業に向けてメッセージをスピーチできる」	総合テスト 1月8日～9日
2月	・Extensive Reading 「まとまりのある英文が理解できる」	久米島高校連携入試 1月18日 県立高校入試 3月6日

4 授業をうける心構え

<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。 ・質問や問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。(無言挙手) ・英語の授業では、グループ学習やペア学習をよく行います。お互いに協力して頑張りましょう。 ・単語の学習は日々の繰り返しが大切です。計画的に家庭学習に取り組みましょう。 ・単語や教科書の音読練習などは、声に出して練習しましょう。
--

5 家庭学習のアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことは、その日のうちに復習しましょう。 ・教科書、ワークや授業でまとめたノートを見直し、復習を進めましょう。その際、単語の意味をしっかりと理解して、書けるようになっておきましょう。 ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。 ・英語検定にも積極的に挑戦しましょう。
